

平成 25 年度 第 1 回番組審議会 議事録

開催日時 平成 26 年 3 月 14 日 (金) 14 時 00 分～15 時 20 分

場 所 トコちゃんねる静岡 1F 会議室

出席者 <審議委員> 審議委員 7 名中 6 名の出席 (1 名欠席)
田村 孝子 委員長
神谷 雄介 委員
鈴木 昇 委員
西村 晴道 委員
有田 知弘 委員
津島 裕子 委員

<トコちゃんねる静岡> 代表取締役社長 近藤 雄二
常務取締役 藤森 敏文
放送部長 原 佳嗣
<事務局> 小澤 幸子

次 第 1. 挨拶 (代表取締役社長 近藤 雄二)
2. 議事・平成 25 年度実績報告と平成 26 年度番組計画
・その他

審議番組 特別応援番組「みんな応援してるぜ！」 時間 [正味 12 分]

審議概要 第 95 回 全国高等学校野球選手権静岡大会 特別応援番組「みんな応援してるぜ！」
裏方で頑張っている生徒を紹介。試合切り替え (球場入れ替え時間帯) を利用して、
放送した番組。お客様の反響が多く審査番組とした。夏の高校野球予選 (1、2、3 回
戦) の面白さを広げることができるかどうか? トライアル企画番組。

各委員の意見 (以下、敬称略)

神谷: インタビューのシーンについて、正面画像があったほうがよいと思う。

有田: 高校野球の裏方を取り上げて紹介する企画は非常に良い。

津島: 全体的にまとまっているが、12 分の尺はすこし長く感じた。構成の工夫が必要と思う。

鈴木: リポーターの方の聞き方が泥臭くない感じがする。比較的取材に取り上げた学校が、校舎などが新しく綺麗すぎるためだろうか。応援団などは、もう少し、高校生の必死で泥臭いイメージがみられても良いのではないか。

西村: リポーターとの受け答えに台本通り (答えを想定した) の感じがする。レポーターの素直な反応や相槌がほしい。

田村: 最初の入の画面のインパクトがない。「タイトル: 応援してるぜ!」に比べて全体に感動が少ない。聞き手に「熱さ」が伝わらない。応援団の練習風景はわかるが、当日の紹介も必要ではないか? 取材高校と試合出場の高校が一致していないが、合わせる努力が必要。

視聴番組総括

高校野球の試合では映ることがない、裏方の高校生にスポットを当てることが良かった。リポートが聞き手の質問や受け答えに臨場感や感動などの「熱さ」が伝わらない部分がみられる。応援団の練習風景はわかるが、当日の紹介や試合会場の雰囲気を入れる必要があるのではないか？また、取材高校と試合出場の高校が一致していないので、視聴者には違和感を与えるところがある。できる限り、放送する高校については試合カードと合わせる努力が必要で、1校当たりの番組時間も12分は長く感じるので検討したほうが良い。

コミュニティチャンネル全体を通じて

神谷：ニュース番組の出演者のみでなく関係者インタビューなど工夫が必要。

ピッチャーの両親インタビューなどもあると、見る人も増えるので良い。

有田：トコチャンリポーターはたくさん出演して面白かった。

ただ、出る人が事前に分からないのが残念。“次回はどこどこをやります”などの告知が番組内であっても良いと思う。とくに、トコチャンリポーターの出演者の知り合いやリポート地域の方は、関心を持つだろうから、事前告知で視聴喚起が必要。

津島：民放はお笑い番組が多い中、地元密着で番組作りをしているので、視聴者としてこれからも期待している。ローカルアーティストの発掘や地元ならではの取り組みなどを積極的に取り上げてほしい。

鈴木：歴史伝統芸能など特色ある企画がほしい。

西村：見る時間帯が一定であるが、いつも同じ番組を見ることが多い。

初めて見る人にも興味を持ってもらうために出演者情報をもっと入れるべきである。例えば、ミュージックパーティーなどでは、MCがどんな人かわからないので経歴を紹介するなどのテロップやくだりがあってもよいと思う。

田村：民謡、民舞など地域芸能などのアーカイブ的番組がほしい。

1年、2年のスパンではなく、継続することでケーブルテレビの映像が価値のあるものになる。地域創造DVDなどの番組を残すための企画とあわせて、ふるさと教育を応援企画番組があれば、若年層（学生など）の取り込みもできるのではないかと。具体的例としては芹沢圭介の企画は良かった。あのような取り組みをもっと積極的に取り上げたほうが良い。

以上

※本議事録については、弊社ホームページ上で公開します。